

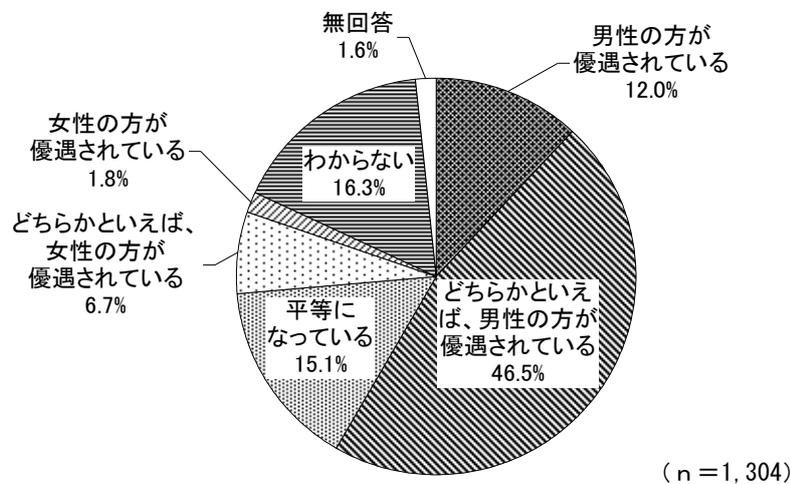
8 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

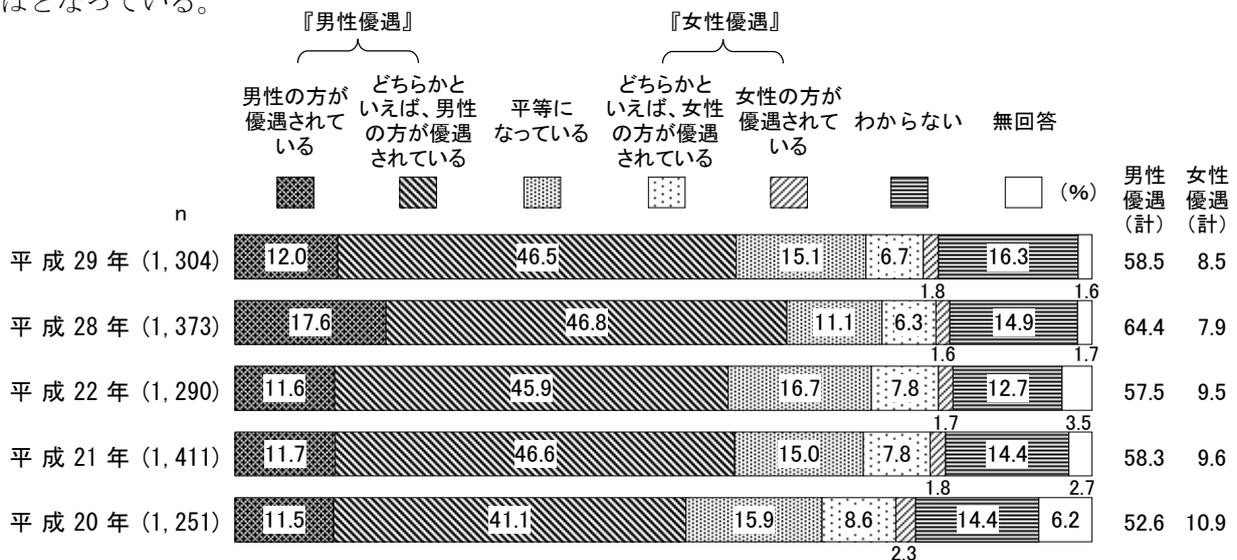
問19 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,304]

1	男性の方が優遇されている	12.0%	5	女性の方が優遇されている	1.8%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	46.5%	6	わからない	16.3%
3	平等になっている	15.1%		(無回答)	1.6%
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	6.7%			

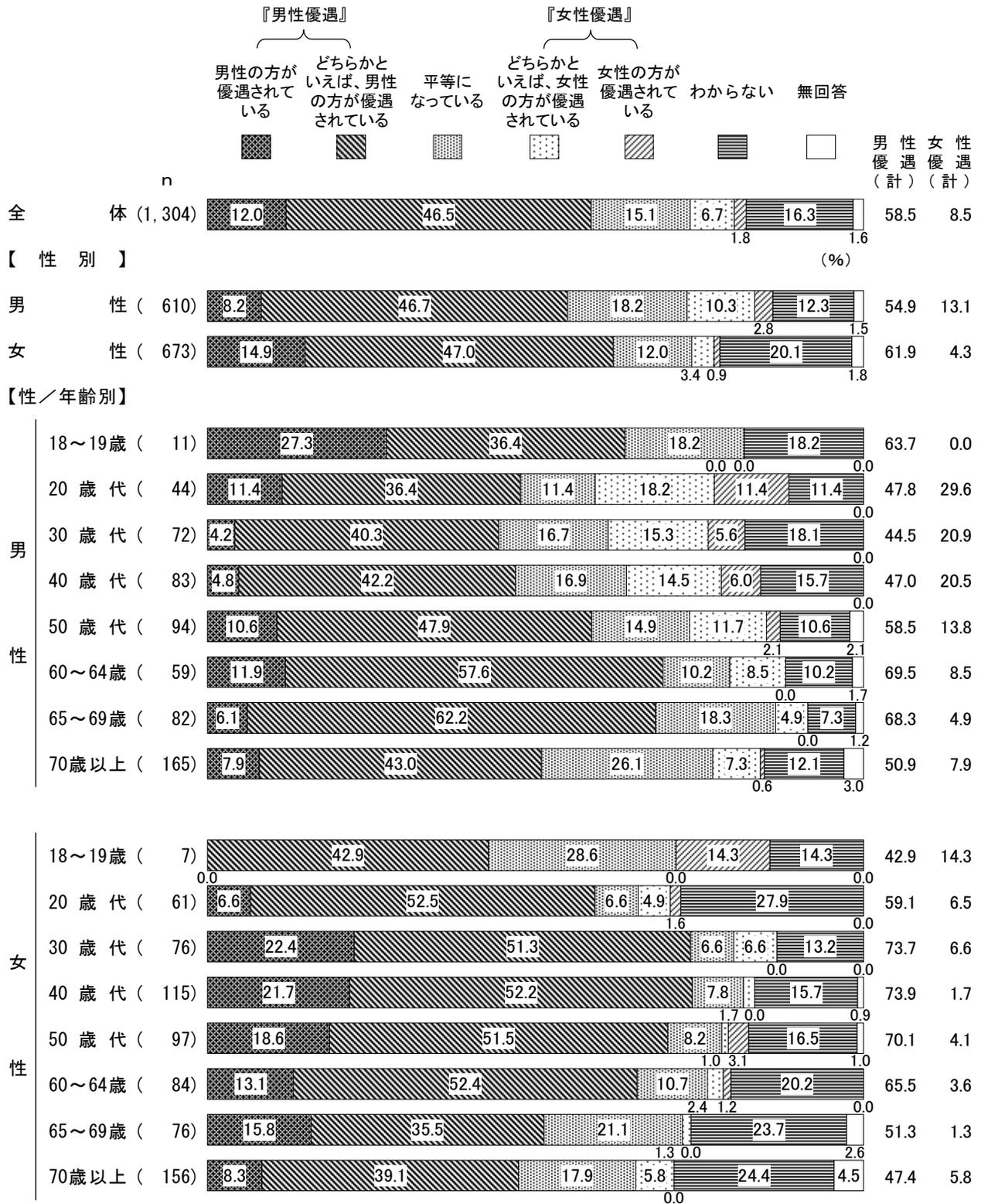


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(12.0%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(46.5%)の2つを合わせた『男性優遇』(58.5%)は6割近くとなっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(6.7%)と「女性の方が優遇されている」(1.8%)の2つを合わせた『女性優遇』(8.5%)は1割近くとなっている。また、「平等になっている」(15.1%)は1割半ばとなっている。



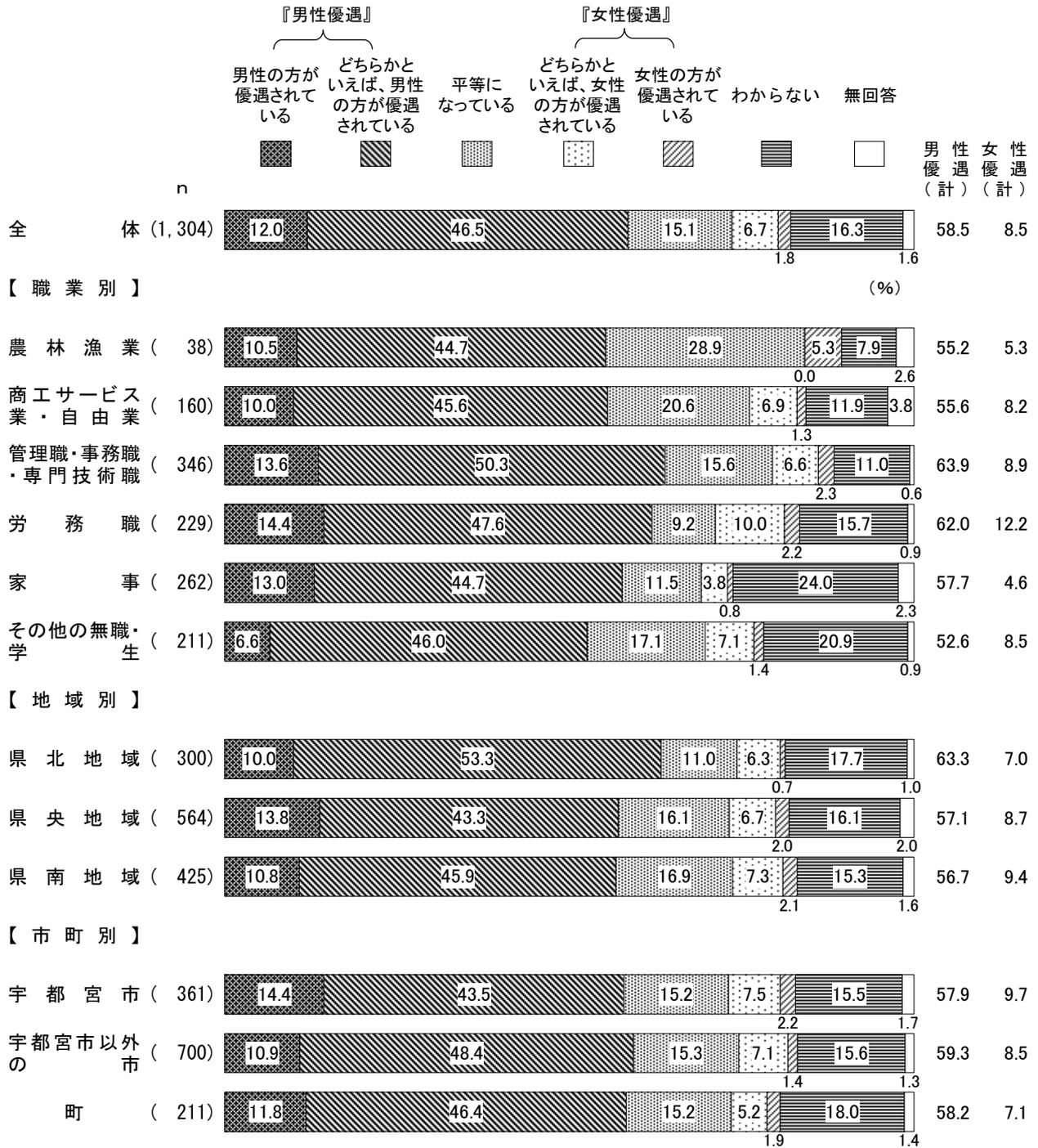
過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が前回(平成28年)より5.9ポイント減少している。一方、「平等になっている」が前回(平成28年)より4.0ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(61.9%)が〈男性〉(54.9%)より7.0ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(13.1%)が〈女性〉(4.3%)より8.8ポイント高くなっている。性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性40歳代〉が73.9%、〈女性30歳代〉が73.7%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性20歳代〉が29.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『男性優遇』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が63.9%、〈労務職〉が62.0%と高くなっている。

地域別でみると、『男性優遇』では〈県北地域〉が63.3%と高くなっている。

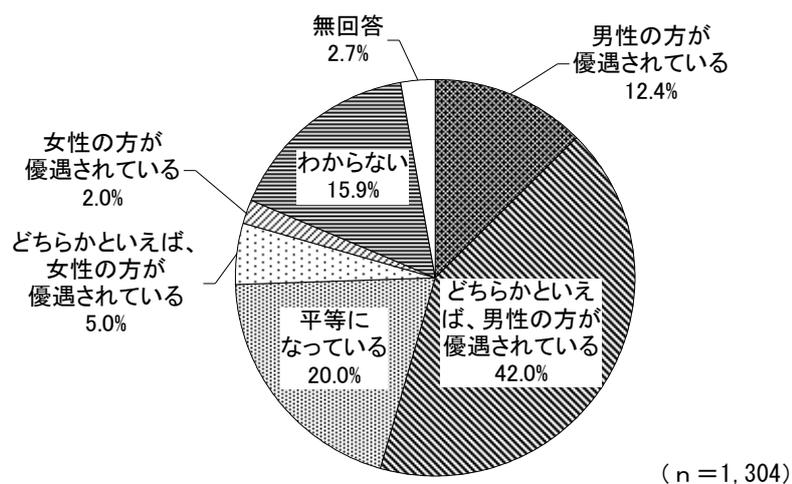
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 働く場での男女の地位の平等感

問20 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

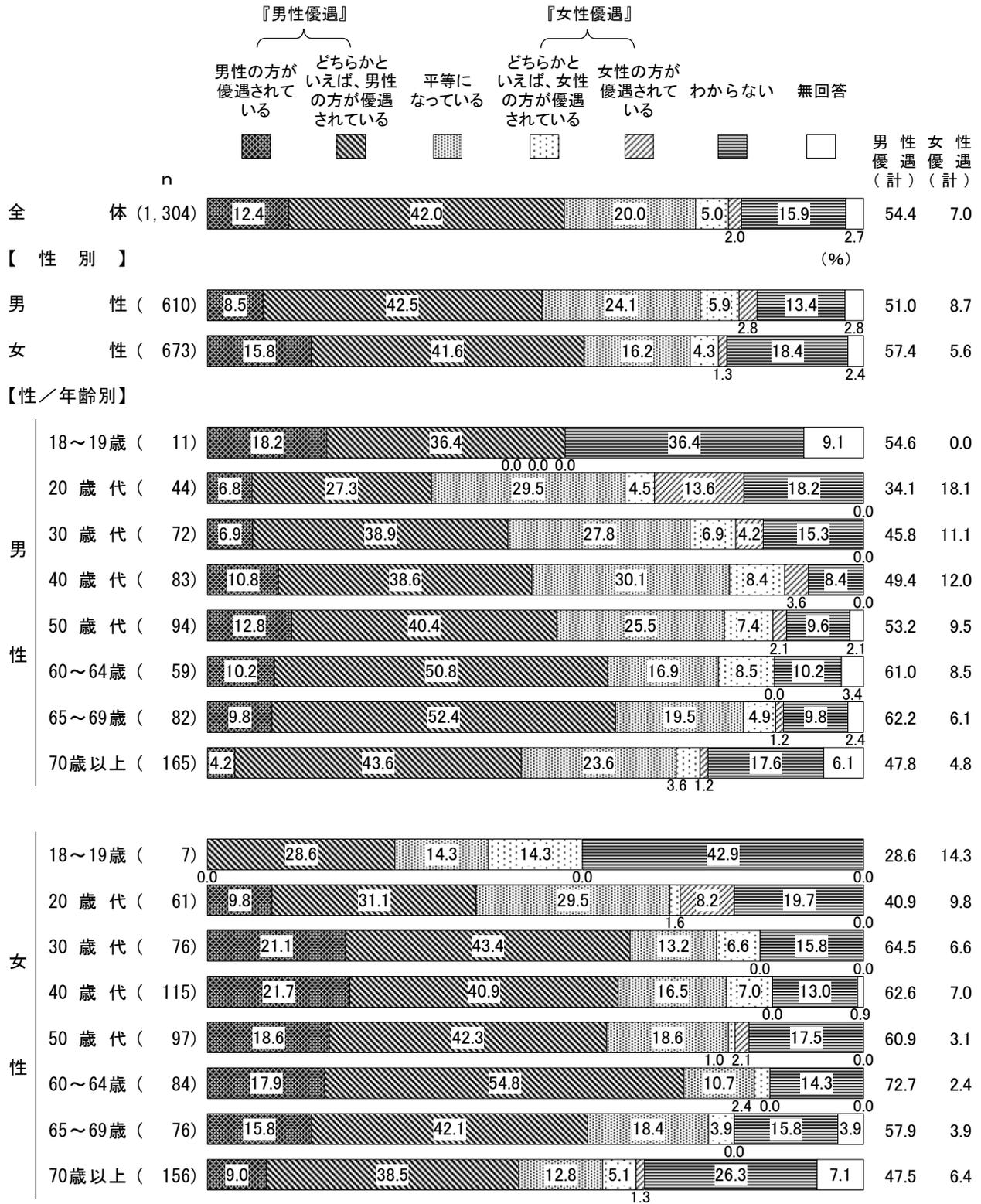
[n=1,304]

1	男性の方が優遇されている	12.4%	5	女性の方が優遇されている	2.0%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	42.0	6	わからない	15.9
3	平等になっている	20.0	(無回答)		2.7
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	5.0			



全体で見ると、「男性の方が優遇されている」(12.4%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(42.0%)の2つを合わせた『男性優遇』(54.4%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(5.0%)と「女性の方が優遇されている」(2.0%)の2つを合わせた『女性優遇』(7.0%)は1割近くとなっている。また、「平等になっている」(20.0%)は2割となっている。

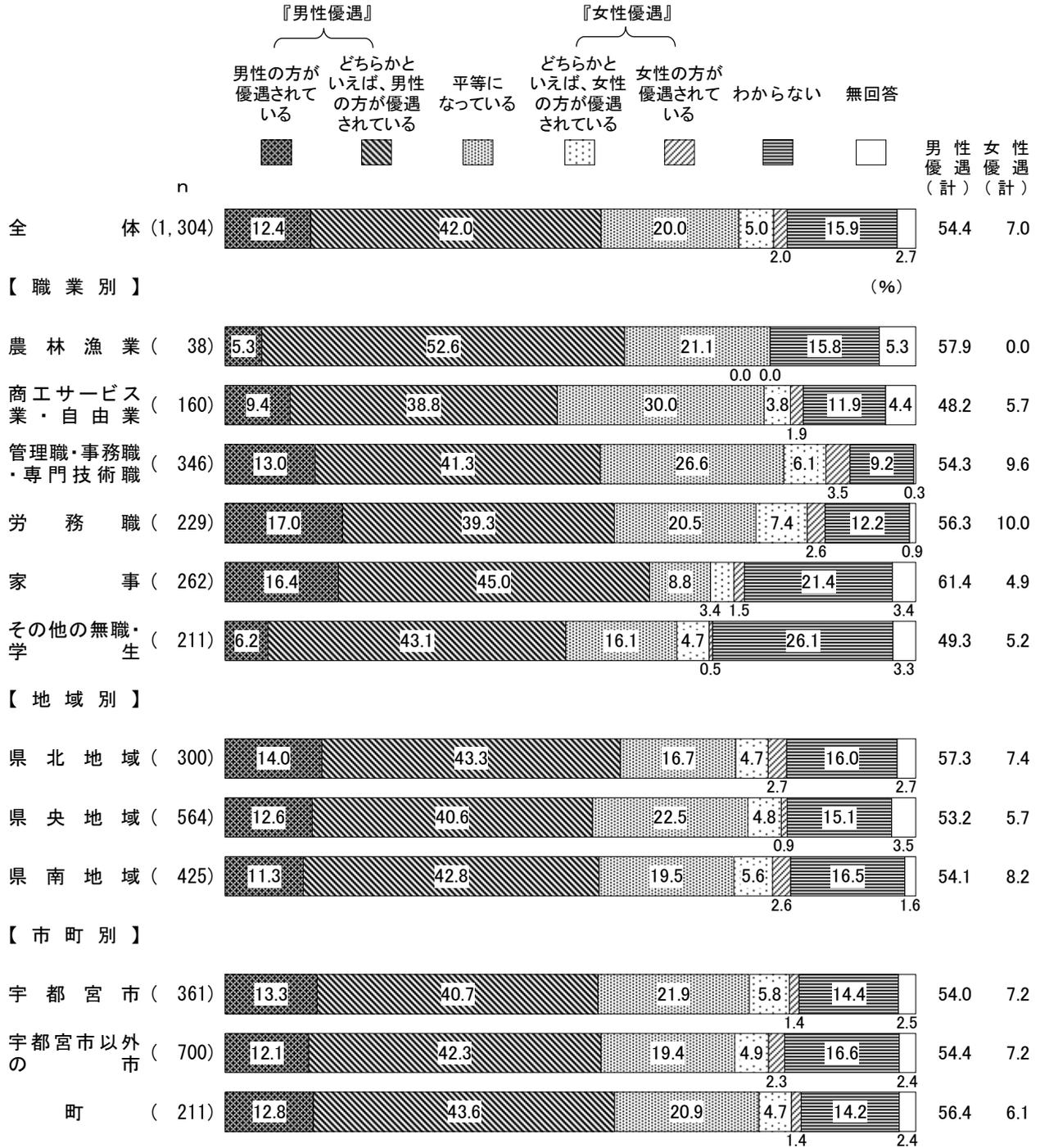
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(57.4%)が〈男性〉(51.0%)より6.4ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(8.7%)が〈女性〉(5.6%)より3.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性60～64歳〉が72.7%、〈女性30歳代〉が64.5%、〈女性40歳代〉が62.6%、〈男性65～69歳〉が62.2%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性20歳代〉が18.1%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『男性優遇』では〈家事〉が61.4%と高くなっている。

地域別で見ると、『男性優遇』では〈県北地域〉が57.3%と高くなっている。

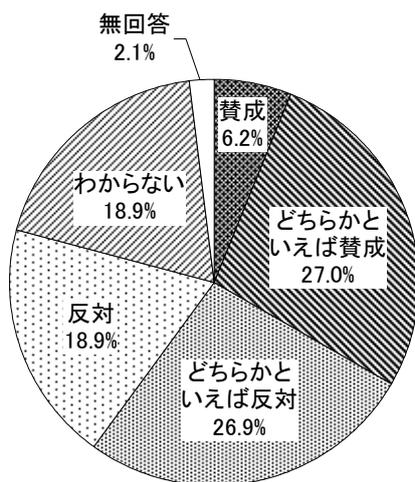
市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 固定的な性別役割分担意識

問21 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように
 思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,304]

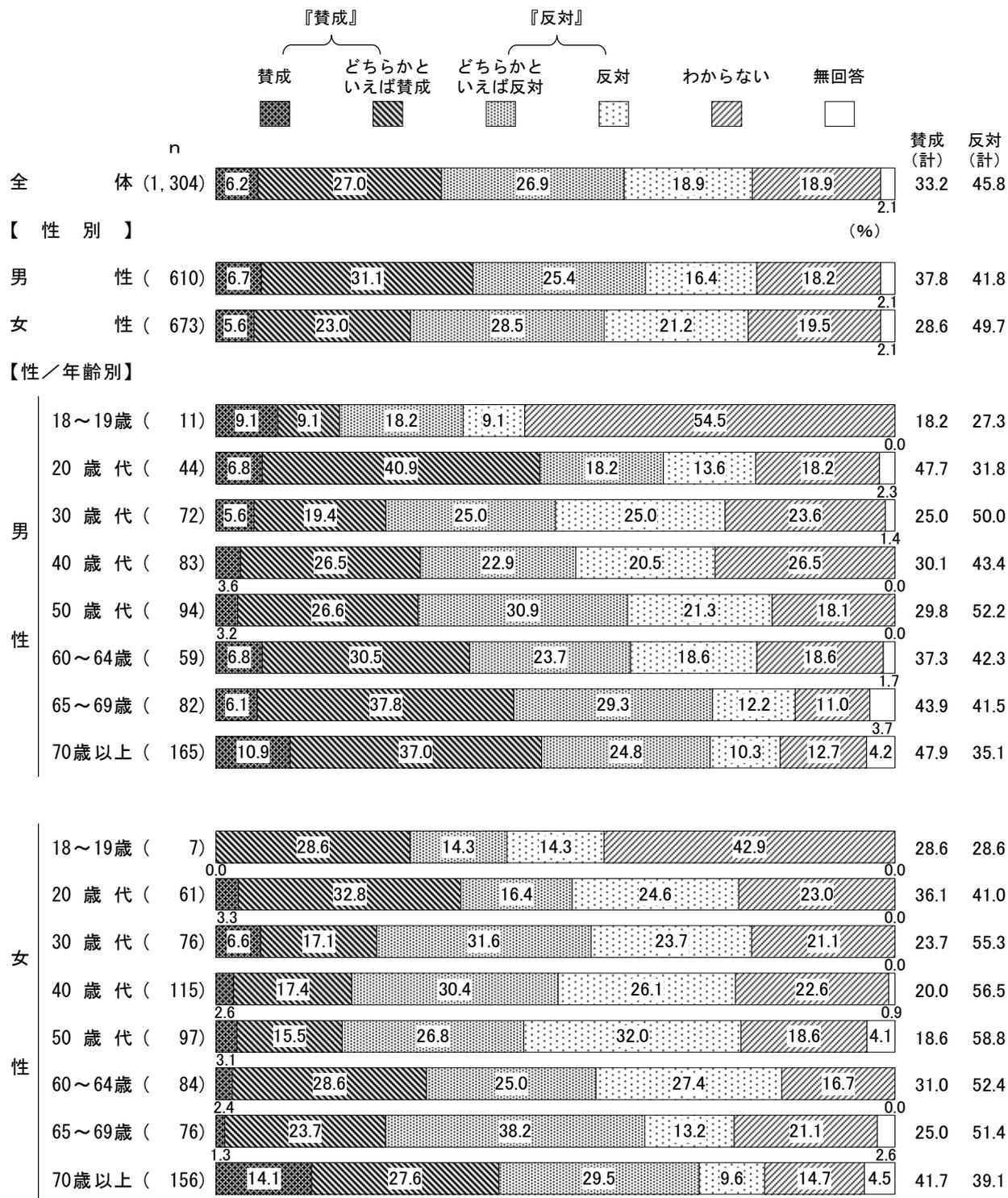
1	賛成	6.2%	4	反対	18.9%
2	どちらかといえば賛成	27.0	5	わからない	18.9
3	どちらかといえば反対	26.9		(無回答)	2.1



(n=1,304)

全体でみると、「賛成」(6.2%)と「どちらかといえば賛成」(27.0%)の2つを合わせた『賛成』(33.2%)は3割を超えている。一方、「どちらかといえば反対」(26.9%)と「反対」(18.9%)の2つを合わせた『反対』(45.8%)は4割半ばとなっている。

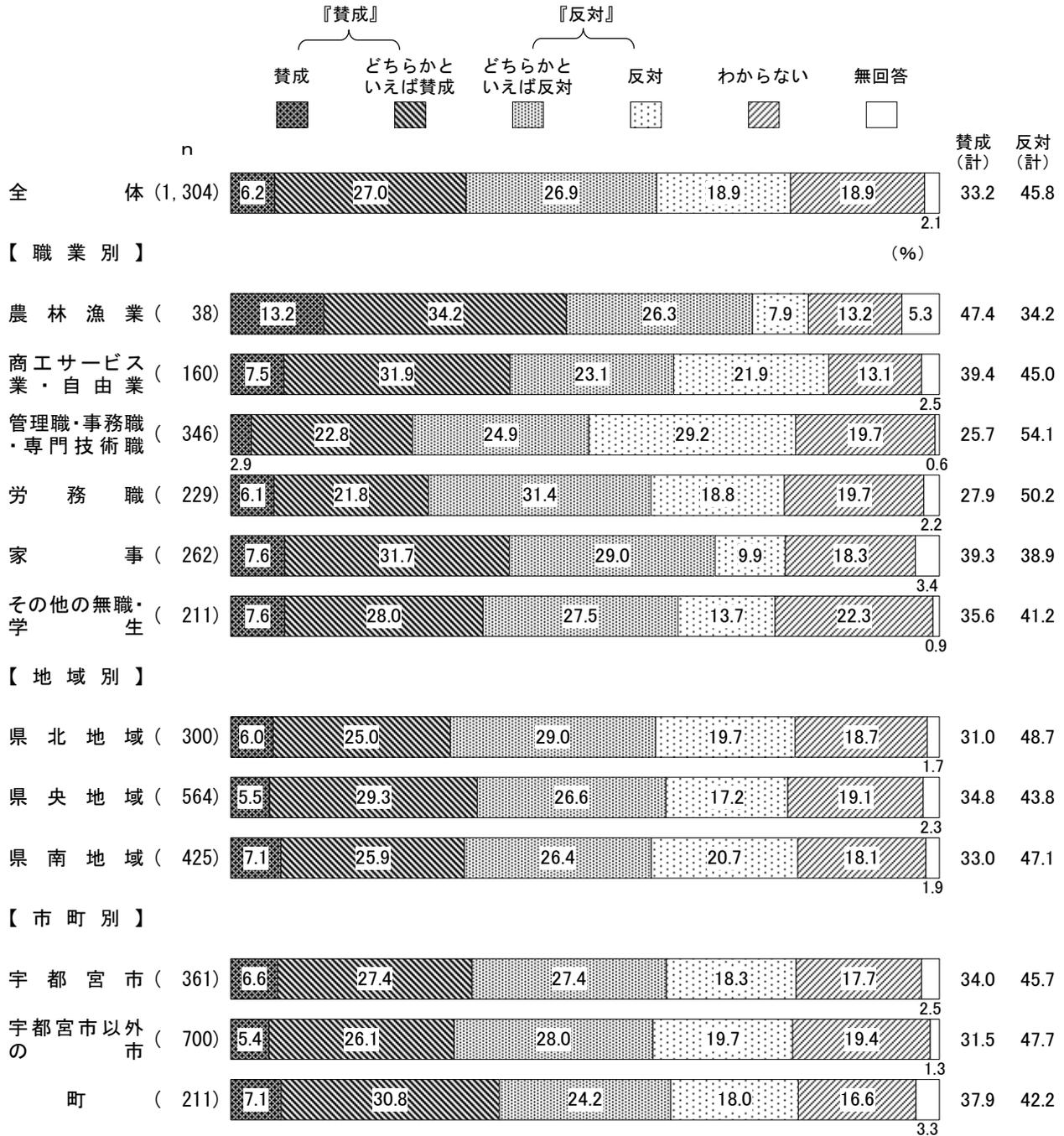
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『賛成』では〈男性〉(37.8%)が〈女性〉(28.6%)より9.2ポイント高くなっている。一方、『反対』では〈女性〉(49.7%)が〈男性〉(41.8%)より7.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『賛成』では〈男性70歳以上〉が47.9%、〈男性20歳代〉が47.7%と高くなっている。一方、『反対』では〈女性50歳代〉が58.8%、〈女性40歳代〉が56.5%、〈女性30歳代〉が55.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『賛成』では〈農林漁業〉が47.4%と高くなっている。一方、『反対』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が54.1%と高くなっている。

地域別でみると、『反対』では〈県北地域〉が48.7%、〈県南地域〉が47.1%と高くなっている。

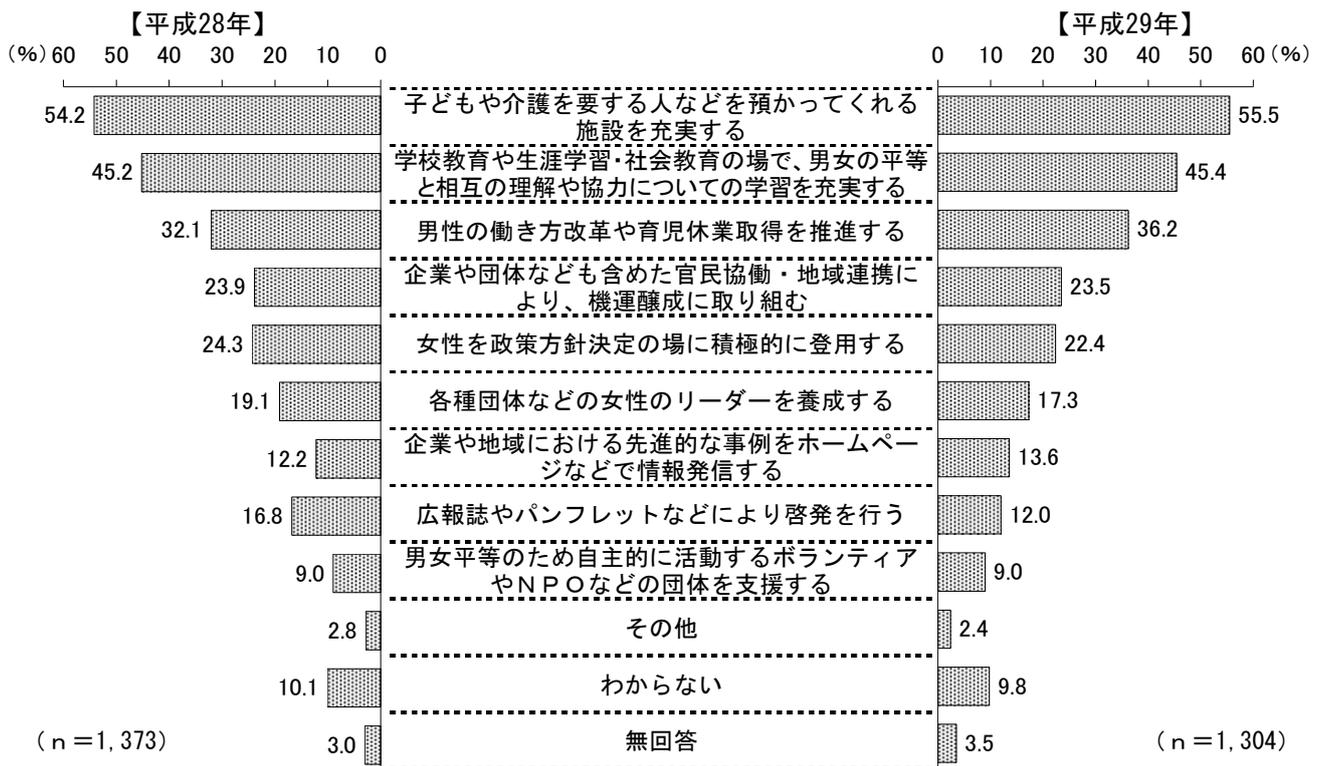
市町別でみると、『賛成』では〈町〉が37.9%と高くなっている。一方、『反対』では〈宇都宮市以外の市〉が47.7%と高くなっている。

(4) 男女平等な社会を推進していくための県の取組

問22 あなたは、今後さらに男女平等な社会を推進していくために、県はどのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,304]

1	広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う	12.0%
2	企業や地域における先進的な事例をホームページなどで情報発信する	13.6
3	学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	45.4
4	企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む	23.5
5	女性を政策方針決定の場に積極的に登用する	22.4
6	各種団体などの女性のリーダーを養成する	17.3
7	男女平等のため自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する	9.0
8	男性の働き方改革や育児休業取得を推進する	36.2
9	子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する	55.5
10	その他	2.4
11	わからない	9.8
	(無回答)	3.5

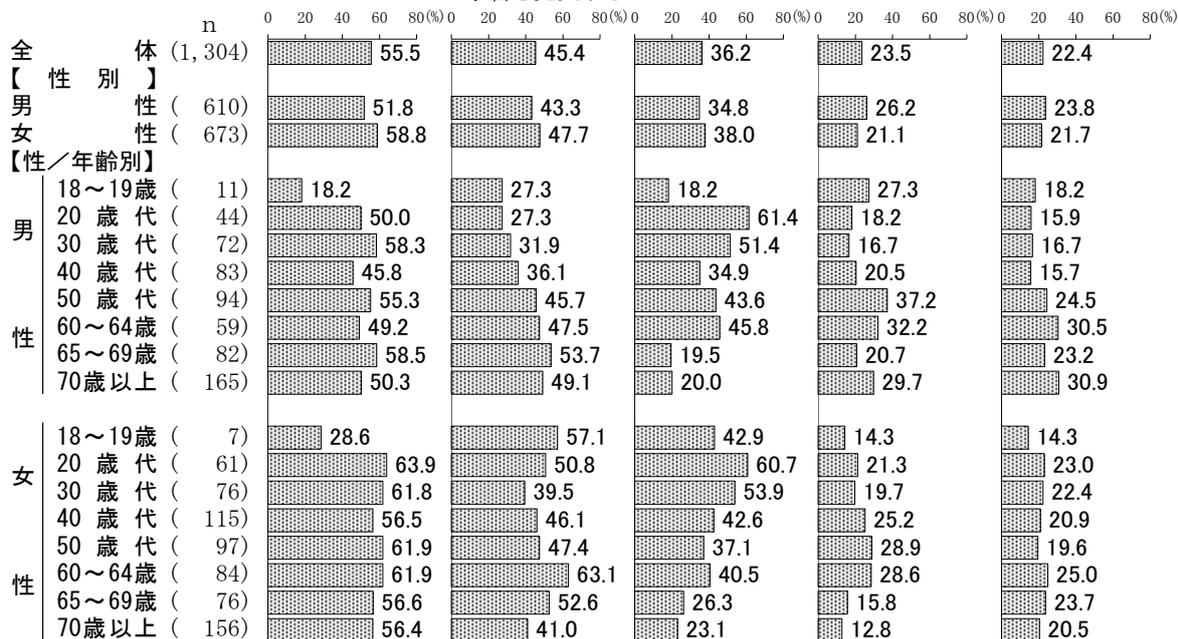


全体で見ると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」(55.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」(45.4%)、「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」(36.2%)、「企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む」(23.5%)、「女性を政策方針決定の場に積極的に登用する」(22.4%)の順となっている。

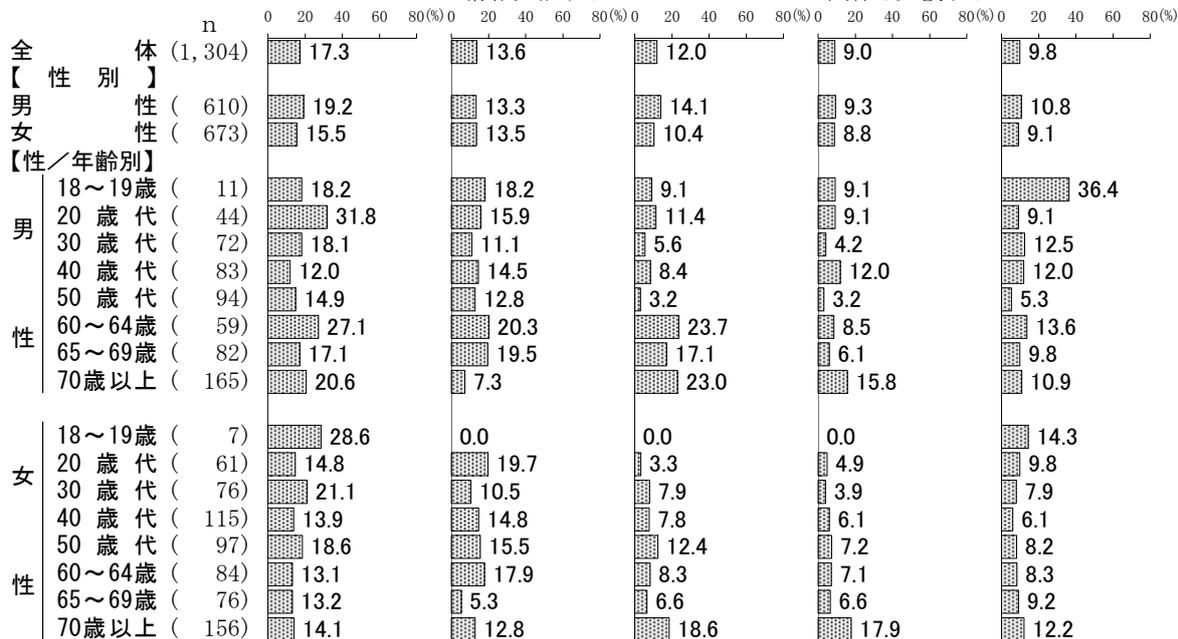
前回(平成28年)の調査と比較すると、「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」が4.1ポイント増加している。一方、「広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う」が4.8ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

- 子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する
- 学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 男性の働き方改革や育児休業取得を推進する
- 企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む
- 女性を政策方針決定の場に積極的に登用する



- 各種団体などの女性のリーダーを養成する
- 企業や地域における先進的な事例をホームページなどで情報発信する
- 広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う
- 男女平等のために自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する
- わからない



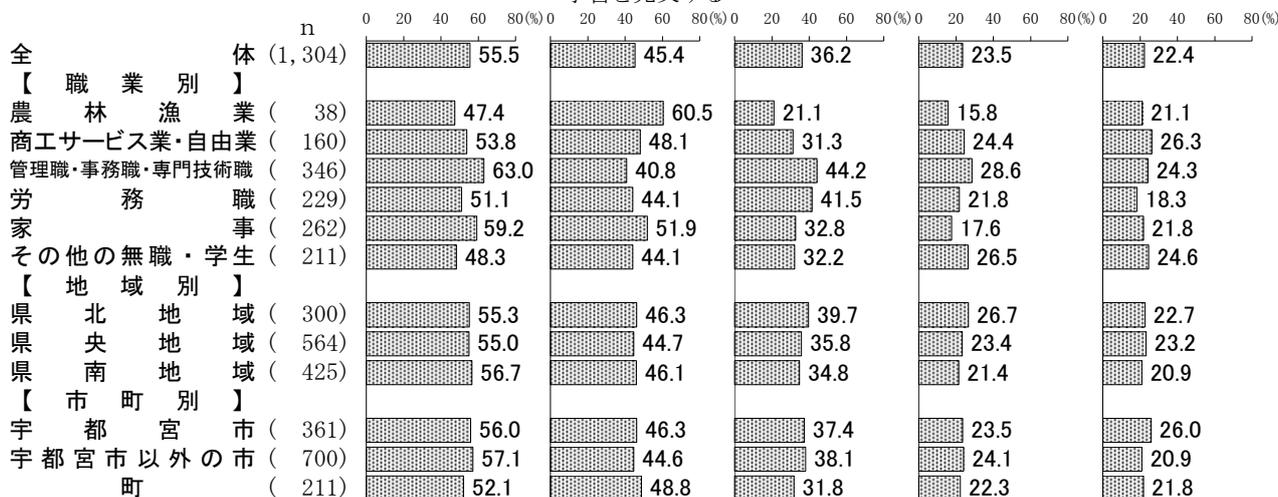
性別で見ると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈女性〉(58.8%)が〈男性〉(51.8%)より7.0ポイント高くなっている。「企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む」では〈男性〉(26.2%)が〈女性〉(21.1%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」では〈女性60~64歳〉が63.1%と高くなっている。「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈男性20歳代〉が61.4%、〈女性20歳代〉が60.7%と高くなっている。

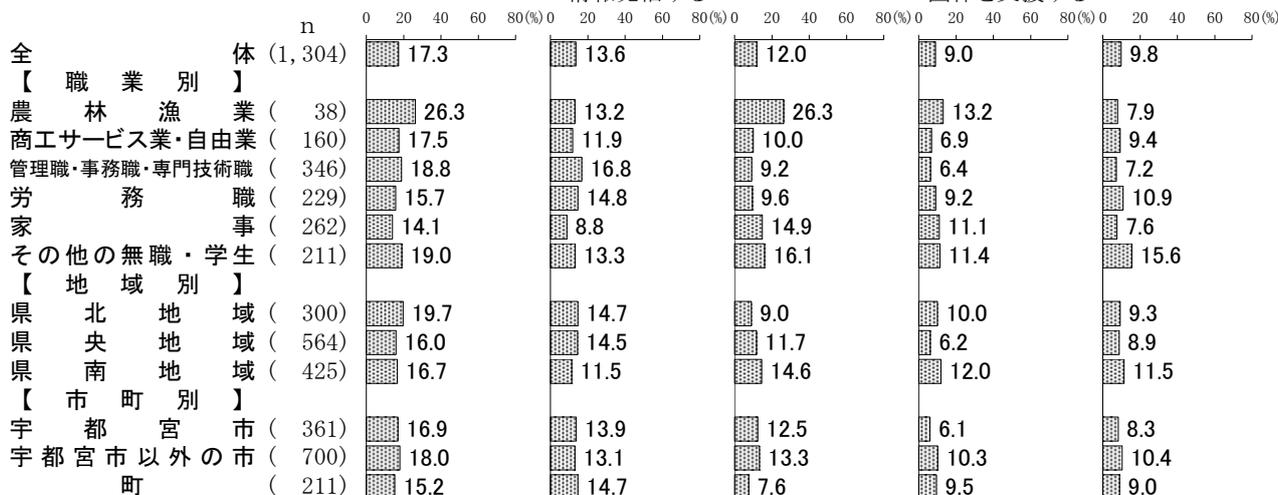
[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)

- 子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する
- 学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 男性の働き方改革や育児休業取得を推進する
- 企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む
- 女性を政策方針決定の場に積極的に登用する



- 各種団体などの女性のリーダーを養成する
- 企業や地域における先進的な事例をホームページなどで情報発信する
- 広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う
- 男女平等のために自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する
- わからない



職業別でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が63.0%と高くなっている。「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」では〈農林漁業〉が60.5%と高くなっている。「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が44.2%と高くなっている。「各種団体などの女性のリーダーを養成する」では〈農林漁業〉が26.3%と高くなっている。「広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う」では〈農林漁業〉が26.3%と高くなっている。

地域別でみると、「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈県北地域〉が39.7%と高くなっている。

市町別でみると、「女性を政策方針決定の場に積極的に登用する」では〈宇都宮市〉が26.0%と高くなっている。